

2016年6月号(第66号)

発行/企画 社協・編集会議

社会福祉法人 横浜市戸塚区社会福祉協議会  
(戸塚区社協といいます)

住所: 〒244-0003 戸塚区戸塚町167-25

TEL: 045-866-8434

FAX: 045-862-5890

E-mail: info@totsukashakyo.com

http://totsukashakyo.com/

# 社協とつか

## 地域 みんなで 育む子育て



近年、少子化や核家族の増加、地域とのつながりの希薄化などを背景に、子育て世帯を取り巻く環境が大きく変化しています。育児に励む親の悩み・孤立化、仕事と子育てとの両立、また子どもの貧困問題も深刻化しています。厚生労働省の調査では、子どもの6人に1人が貧困状態にあるとされています。

子どもは、家庭や学校、地域の人たちに見守られ、関わりながら成長していきます。今、子育ての現状や環境を地域 みんなが理解・認識し、地域ぐるみで子育て世帯に寄り添う視点がより一層求められています。

### 子育て世帯を支える活動の一部をご紹介します

#### 学習を通した子ども・家庭支援

(東戸塚地区)  
学習支援  
R's room  
(アールズルーム)

発達障がいや不登校など気になる子どもへの支援を目的として、学生や地域住民の協力により様々な学習支援が展開されています。

R's roomは、集団学習が苦手な子、発達障がいや不登校の子どものための個別学習ルームで、未就学児から中学生まで利用しています。一人ひとり個性があると同様に、学びのペースは一律ではありません。子ども自身が自分のペースを見つけていくこと、その子なりの学びを体験していくことを、R's roomでは大切にしています。

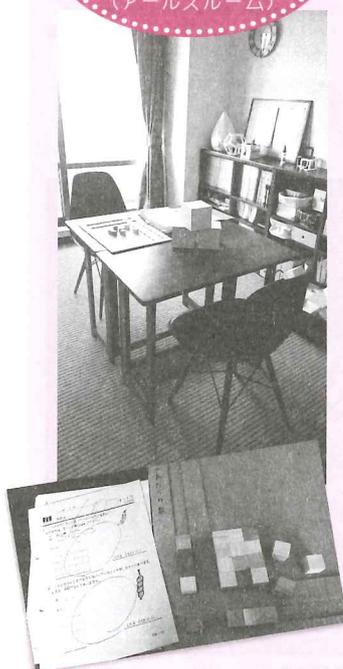
#### 関心の高まる「子ども食堂」

子ども食堂とは、低所得家庭、ひとり親家庭など様々な事情を抱えた子どもたちに、無料または低額で食事を提供する場所です。運営は、地域住民やボランティアを中心に行われています。

3月10日(木)に戸塚区社協・福祉のすそ野を広げる分科会で「子ども食堂」について他区の取り組み事例を紹介しました。瀬谷区阿久和南部地区社協の「食・学習 子どもの日常生活支援」と、NPO法人スペースナナの「ナナ食堂」について発表です。当日は、高齢者施設、ボランティアグループ、民生委員・児童委員など40名の参加があり、関心の高さがうかがえました。アンケートでは、「食だけではなく、居場所や多世代交流など色々なことが求められていることがわかった」、「地域全体で関わる必要性を感じた」などの声があがっていました。



左から阿久和南部地区社会福祉協議会 相原和行 会長、NPO法人スペースナナ 柴田暁子 共同代表



## 地域の活動紹介コーナー

# さわやかグラウンドゴルフ大会

名瀬地区

～子どもと高齢者との交流会～

11月22日(日)に、第6回さわやかグラウンドゴルフ大会が、晴天の下で名瀬中学校グラウンドにて開催されました。

1チーム6名(小学生3名と65歳以上3名)で、10チームの参加者が一生懸命競い合いました。子どもと大人が一緒になってチームのために一致団結し、多世代が交流するきっかけとなっています。

名瀬地区社会福祉協議会主催



# いのちを守る防災講座

上倉田地区

2月14日(日)に、「こどもとあなたのいのちを守る防災講座」が開催されました。未就学児とその保護者を対象に、50名以上の参加がありました。

予測不可能な災害から命を守るには、日頃から「自分でできること」「家族でできること」「地域で助けあうこと」などについて考え、災害に備えておくことが大切です。

とつかハートプラン 上倉田地域ケアプラザエリア・上倉田地区子育て連絡会主催



講師：あんどりすさん(アウトドア流防災ガイド)

カバンに入れておきたいいのちを守る5点セット

1. 防災速報や気象庁などのアプリを入れた携帯電話やスマートフォン
2. すばやく助けてもらうためのホイッスル(笛)  
(玉入りのものは水で音が出なくなる)
3. LED ヘッドライト
4. ハサミやピンセットのついたマルチツール(飛行機内には持ち込めません)
5. 知恵のある自分自身



# 子育て支援事業「かみやべGO」

上矢部地区

上矢部地区では、民生委員・児童委員を中心に、子育て支援活動を行っています。

子育て支援事業「かみやべGO」は、未就園児とその保護者が、親子で一緒に集まれる場所で、毎回30組程の親子が参加しています。地元大学生による音楽演奏や青空公園でのシャボン玉飛ばし、芋ほりなど、季節に応じた行事を年10回行っています。

また、保育士や民生委員・児童委員が子育ての悩み相談にも応じています。

今後も継続して、子育ての情報交換の場として活動していきます。

上矢部地区社会福祉協議会主催



▲節分の豆まき

# 福祉人材シリーズ 戸塚の輝くひと

vol.4

社会福祉法人 恩賜財団 戸塚愛児園 保育士 室山 祐里さん(戸塚町)  
むろやま ゆり



—仕事内容を教えてください—

戸塚愛児園は昨年60周年を迎えた歴史ある保育園です。のびのび、いきいき、なかよし、ゆめいっぱいを目標に子どもたちと職員一同毎日楽しく過ごしています。

—なぜこの仕事に就きたいと思われたのですか—

私自身が幼稚園児だったころから幼稚園が大好きで、将来は幼稚園の先生になりたいと思っていました。子どもが大好きで保育園でアルバイトをしたり、学生時代の保育園実習で夢が膨らみ、保育園で働きたいという気持ちが強くなりました。

—仕事の魅力を教えてください—

十人十色、様々な色を持った子どもたちがいます。毎日大きな感動や喜びを味わえることも、魅力の一つです。泣いていた子どもたちが、抱っこをしてあげたり、そばに行くだけで泣き止んでニッコリしてくれると信頼関係を感じられ、嬉しい気持ちになります。

—地域との交流はありますか—

園児が近隣の高齢者施設へ訪問して、一緒に歌を歌ったりして交流しています。また、毎月開催している「つぼみくらぶ」では園を解放して、地域の子どもたちや入園児以外の保護者の方も一緒に交流しています。地域の方々にも、当園を楽しい場と思っていただけたら幸いです。

—「社協とつか」読者へメッセージをお願いします—

日々成長していく子どもたちと接することで、いくつになっても自分も成長していきたいと思える、働きがいのある仕事です。いつも、子どもたちから元気をたくさんもらっています。笑顔いっぱいの当園へ、ぜひ遊びにいらしてください。

# 報告 新たなニーズを解決するための新規事業助成

戸塚区社協では、未だ解決されていない地域課題を解決するための、事業を応援しています。平成27年度は5団体(NPO法人ふらっとステーション・ドリーム、NPO法人いこいの家 夢みん、NPO法人窓の会、NPO法人こまちぶらす、NPO法人横浜マイスター友の会)へ助成しました。

(この助成事業は平成26年度からの3カ年の期間限定の事業で、募集は終了致しました。)

■こんな活動に活用されています! 配分団体のありがとうメッセージ

団体名 NPO法人 こまちぶらす

事業名 (1)コミュニティカフェを増やそう ~講座「カフェをつくろう」~  
(2)参考冊子「ひろばカフェをつくろう~社会で子育てする国を目指して~」の作成

講座受講生 募集中!

参考冊子絶賛 販売中!

こまちぶらすでは、「子育てをまちでプラスに」を合言葉に、戸塚周辺の子育てを応援しています。「この街で子育てをしてよかった」と思えるママが一人でも増えるよう、子育て中のママたちで結成された団体です。

申請事業では、孤立しない子育て環境をつくるために、子育て中の親子やそれを支える地域の人たちが出会う居場所づくり(コミュニティカフェ)が広がっていくよう、ノウハウを伝える講座を実施する他、コミュニティカフェの開設・継続の指針となる参考冊子を作成しました。

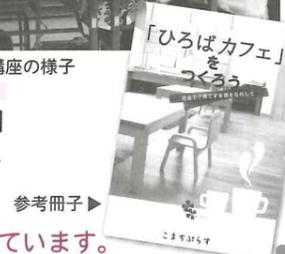
代表理事 森 祐美子さん、理事 山田 顕子さんより

私自身が、様々な人に支えられて子育てをしてきましたので、これからは支援する側に回りたいという気持ちで今の活動に至っています。今後、子育てを地域全体で応援していくための助け合いの輪が全国各地に広がっていくことを願っています。

※「新たなニーズを解決するための新規事業助成」は共同募金を財源としています。



▲講座の様子



参考冊子▶



# ボランティア情報

2016年 6月発行

社会福祉法人横浜市戸塚区社会福祉協議会

## 困ったときは、ボランティアセンターに相談しよう!

とつかボランティアセンターでは、ボランティアを必要とする人にボランティアを紹介しています。日常生活でのお困りごと、地域活動でのお困りごとなどがありましたら、まずはボランティアセンターにご相談ください。(依頼に関しては、諸条件があります。詳細は、直接お問い合わせください)



車いすで生活しています。電球が切れていて、玄関が真っ暗です。電球を交換してくれませんか?



高齢者ひとり暮らしです。週に2回デイサービスに通っていますが、外にでかけたりすることができず家にこもりがちです。散歩や買い物など行ければいいなあ。

高齢者ふたり暮らしです。庭の草むしりや植木剪定ができません。どなたか手伝ってくれる方はいませんか?



町内会役員です。親子向けの子育てサロンを開催しています。歌や手遊びをしてくれる方を紹介してくれませんか?

**まずは、窓口、お電話、FAX、メールでご相談ください。**

**とつかボランティアセンター**

窓口開設：月～土 9:00～17:00

※日・祝日・年末年始(12月29日～1月3日)を除く

電話：866-8483 FAX：862-5890

Email:volunteer@totsukashakyo.com

## 戸塚区社協送迎事業



「24時間テレビ」より、福祉車両(スズキエブリイ)の寄贈を受けました。

公共交通機関の利用が困難な高齢者や障がいのある方に対して、寄贈された車両を使用して、ボランティアが送迎を行います。

送迎サービス  
運転ボランティア募集

条件：運転免許をお持ちの75歳までの方

日時：月曜～金曜 9時～17時

※祝日を除く

関心のある方は…866-8434までお電話下さい。



編集  
後記

本紙は例年5月、9月、2月の年3回発行してまいりましたが、今年度より6月、10月、3月の発行に変更させていただきます。

今号は近年話題となっております、地域における子育て支援について取り上げました。各地区で様々な子育て支援を行っています。子どもたちが安心して健やかに育つ地域づくりを目指しましょう。

編集長 大副祥一



「社協とつか」は区民の方々から寄せられた共同募金の一部を用いて発行しています。